

手順 2-1 地図上に図形や関連情報を登録する

地図太郎は写真やコメントの登録ができます。

本ソフトウェアでは、読み込んだ背景地図上に、ユーザが自分で点・線・面の3種類の図形を登録し、その図形に関連付けて属性情報を作成したり、編集したりすることができます。属性情報にはタイトル、登録日、キーワード、内容のほかデジカメで撮影した画像や動画、関連するホームページアドレス、特定のファイルやフォルダなども、関連データとして結び付けて利用することができます。(図形は全て世界測地系の経緯度データとして保存されるので、他のGISシステムとの互換も容易であり、入力ツールとしても最適です。)

- ・点データ 例：撮影地点、調査地点、注記等のポイント（地点）を示すデータ
- ・線データ 例：散歩、ウォーキング、通学路等のコースを示すデータ
- ・面データ 例：遺跡発掘、土地利用、開発等のエリア（区域）を示すデータ
- ・注記データ （「地図太郎PLUS」のみ）注記専用のデータ

属性情報

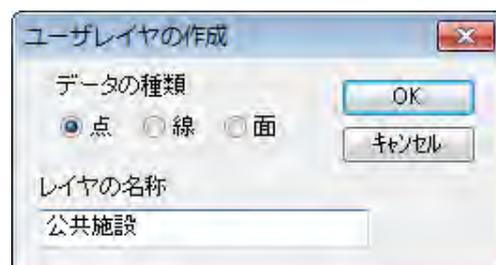
- ・User ID：自動的に番号が付けられますが変更することも可能です。これがCSVデータと図形がリンクするキーとなります。
- ・タイトル、キーワード：属性の画面表示や情報ウィンドウに表示します。
- ・内容：説明等を記入します。文字数に制限はありません。
- ・画像ファイル：デジカメで撮影した画像や、スキャニングした画像を指定します。
- ・リンクファイル：関連するホームページURL、ファイルやフォルダを指定します。
(例：Excel、Acrobat、Google Earth、地図太郎のワークファイル)
- ・登録日、更新日：カレンダー検索により該当する情報を検索できます。
- ・登録者、備考
- ・面積と周長、または距離が自動的に追加されます。

以下に、点・線・面の図形や属性情報の登録と編集（追加・削除・移動・形状・属性情報）について説明します。

(1-1) 点データの新規作成【ファイル】地図太郎

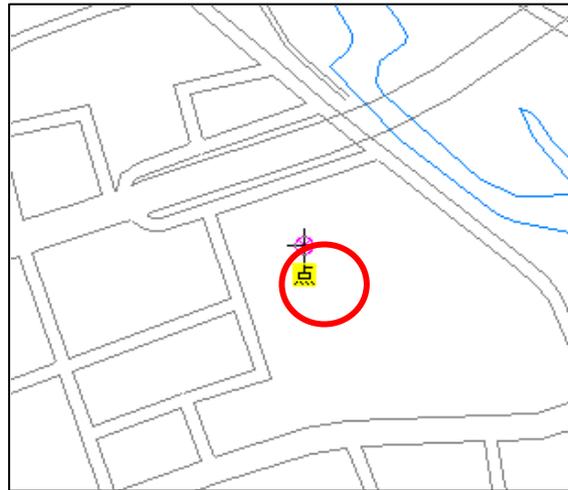
①メニューバーより【ファイル】→【編集レイヤの新規作成】をクリックします。

②データの種類の「点」を選択し、「レイヤの名称」を入力し、[OK]をクリックします。

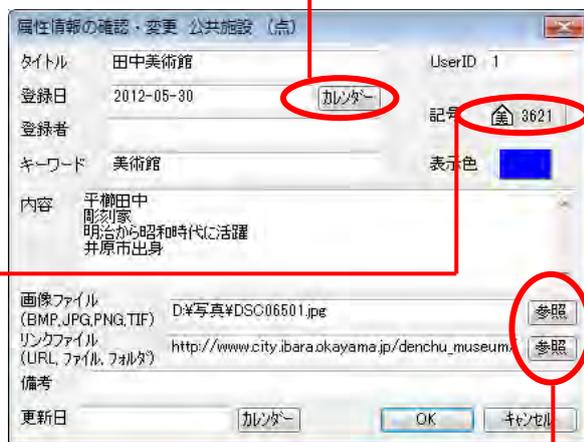


一つのレイヤに異なるデータの種類の（点・線・面）を作成することはできません。点のレイヤは点データのみ、線のレイヤは線データのみ、面のレイヤは面データのみを作成します。

③カーソルの下に「点」という文字が現われます。地図を拡大して点データを作成したい地点にカーソルを動かしてクリックします。



④「属性情報の確認・変更」ダイアログが表示されます。必要事項を入力し、「OK」をクリックします。全ての項目を入力する必要はありません。必要な項目のみ入力して下さい。



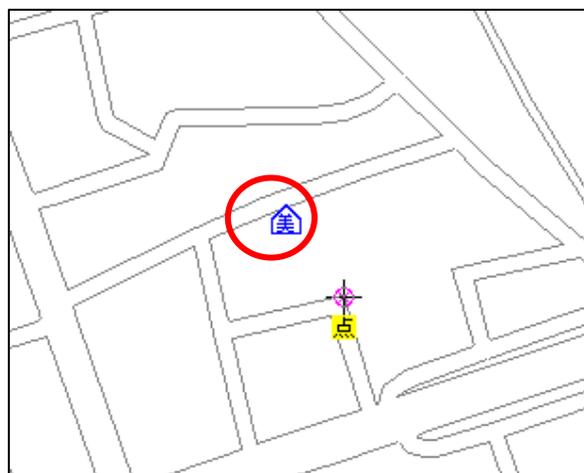
●いろいろな記号が用意されています。後からわかり易いように、形や色で区別すると良いでしょう。



●画像ファイルやリンクファイルは、ファイル名を直接入力しても構いませんが「参照」ボタンを押して、対象のファイルを選ぶほうが便利です。リンクファイルにはURLの記載もできます。

⑤点データが作成されました。同じ操作を繰り返しながら点データを入力していきます。

一つのレイヤに入力する点の数に制限はありません。「点追加」モードは右クリックで解除されます。



(1-2) 点データの新規作成・マイページ【ファイル】PLUS

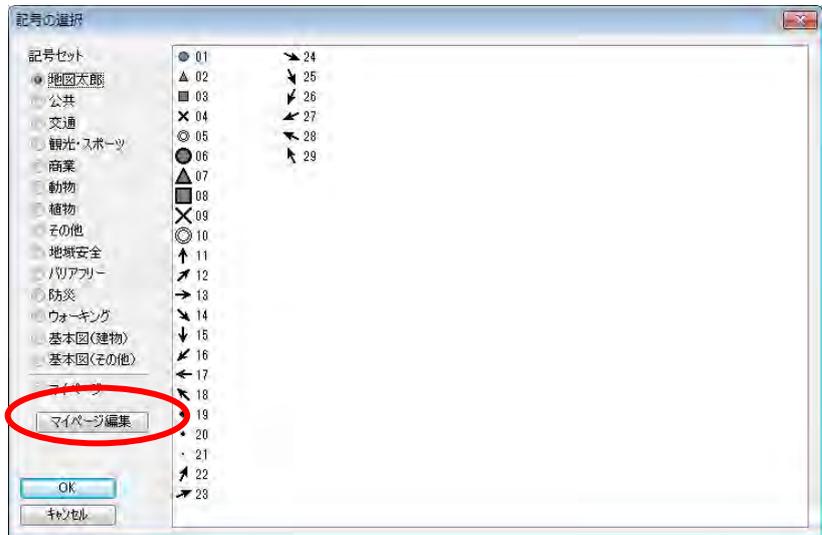
「地図太郎 PLUS」では頻繁に使用する記号を集めた「マイページ」が利用できます。

「マイページ」を設定・変更したら必ず「マイページの保存」か「ワークファイルの保存」を行い設定したマイページを保存しておきます。

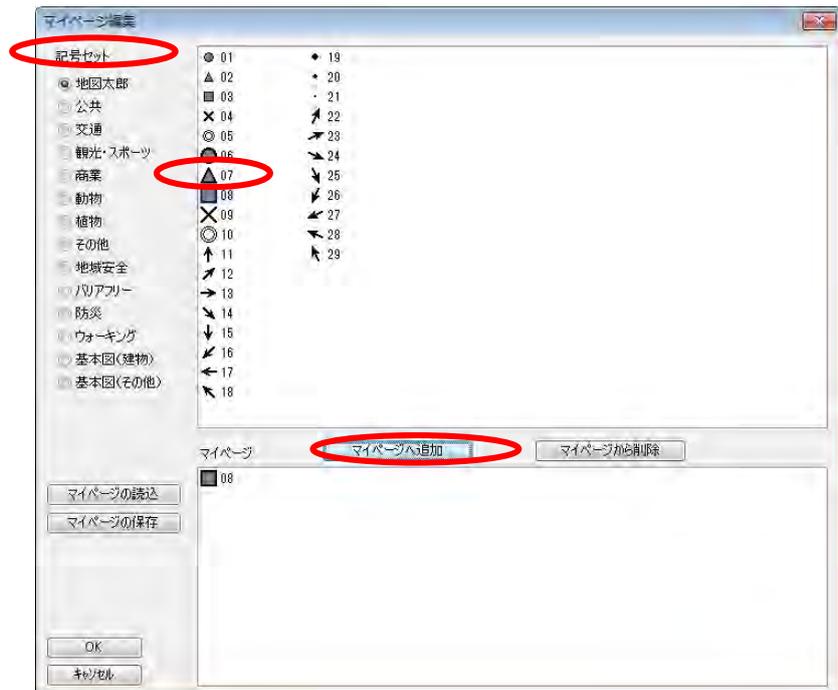
①「属性情報の確認・変更」ダイアログで記号をクリックします。



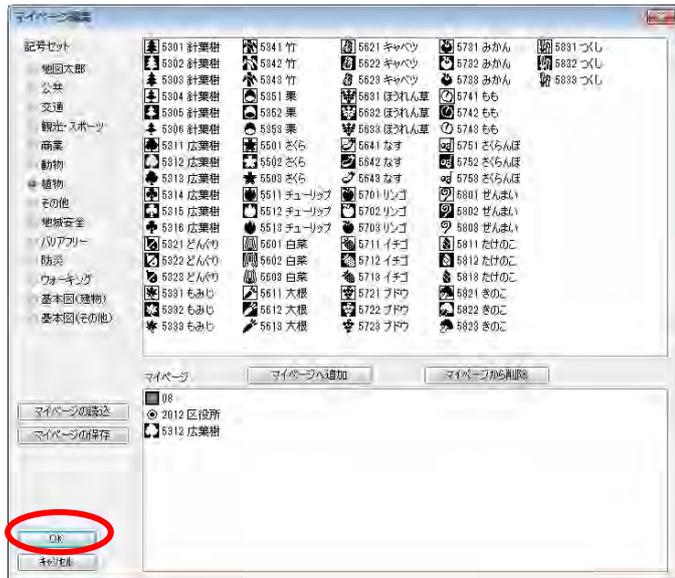
②「マイページ編集」をクリックします。



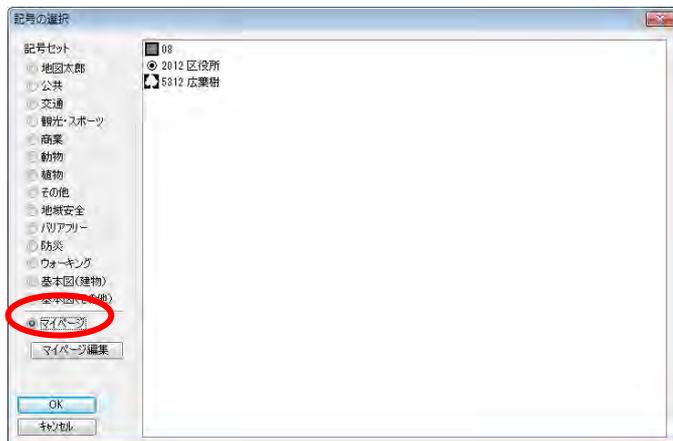
③記号セットを選んでから、記号を選びます。「マイページへ追加」をクリックします。記号セットの選択を変えて記号をマイページに追加します。



④ [OK] をクリックします。



⑤ 「記号の選択」ダイアログの「マイページ」を選んで利用します。



⑥ 「マイページの保存」か「ワークファイルの保存」を行い設定したマイページを保存しておきます。

● 「マイページの保存」・「マイページの読込」

「マイページ」はテキスト形式のファイルでの保存と読み込みができます。

「マイページの保存」

- ① 「マイページ編集」ダイアログの「マイページの保存」をクリックします。
- ② 保存場所をきめファイル名を付け保存します。

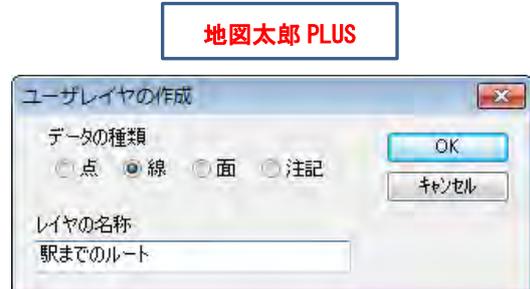
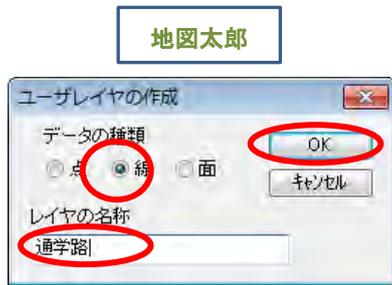


「マイページの読込」

- ① 「マイページ編集」ダイアログの「マイページの読込」をクリックします。
- ② ファイルを選び読み込みます。

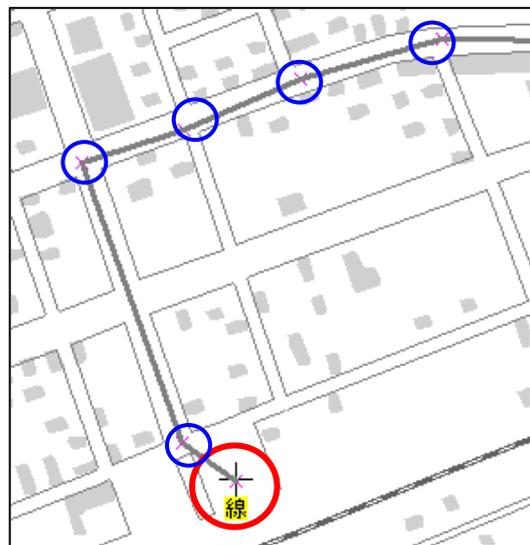
(2) 線データの新規作成【ファイル】

- ①メニューバーより【ファイル】→【編集レイヤの新規作成】をクリックします。
- ②データの種類の「線」を選択し、「レイヤの名称」を入力し、[OK]をクリックします。



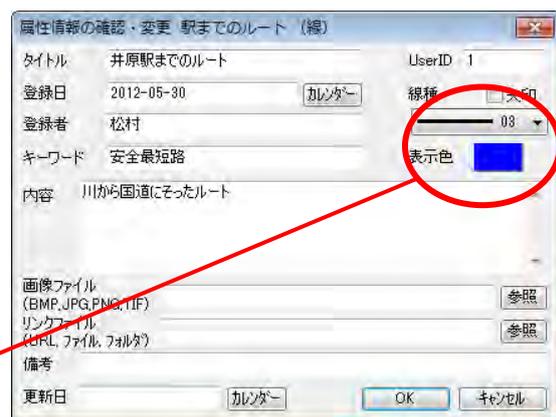
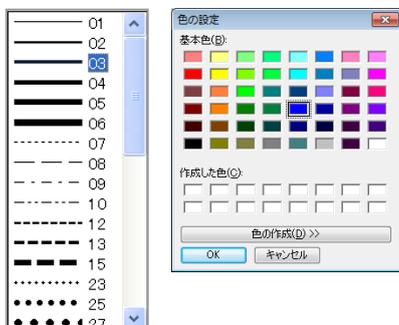
- ③カーソルに「線」という文字が現われます。地図を拡大して線データを作成したい地点にカーソルを動かして、始点となる位置をクリックします。

線のイメージが表示されるので、線を描きたい方向へカーソルを動かしてクリックしながら線を描いていきます。



1本の線を終了させるには右クリックします。クリック数が2点未満のとき右クリックしてもデータは作成されません。

- ④「属性情報の確認・変更」ダイアログが表示されます。必要事項を入力し、「OK」をクリックします。基本的に点データと同じ項目の入力ですが、線種を設定するところが異なります。

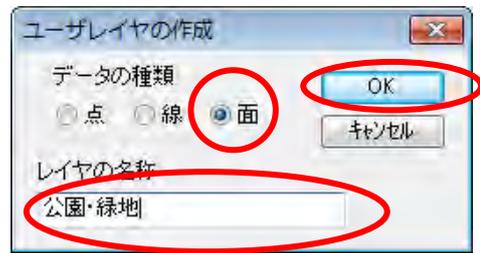


- ⑤線データが作成されました。同じ操作を繰り返しながら線データを入力していきます。一つのレイヤに入力する線の数の制限はありません。メモリ量によります。「線追加」モードは右クリックで解除されます。

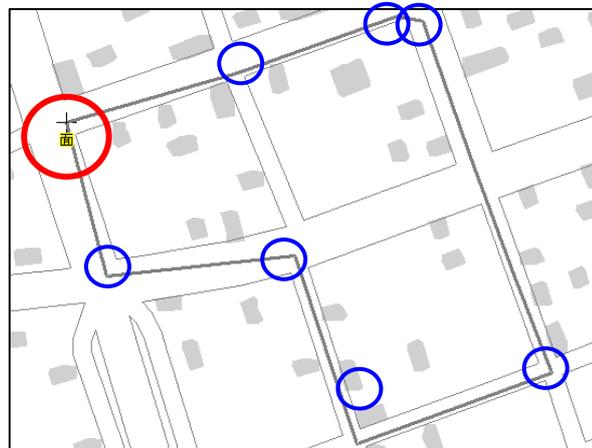
(3) 面データの新規作成【ファイル】地図太郎

①メニューバーより【ファイル】→【編集レイヤの新規作成】をクリックします。

②データの種類の「面」を選択し、「レイヤの名称」を入力し、[OK]をクリックします。



③カーソルに「面」という文字が現われます。地図を拡大して面データを作成したい地点にカーソルを動かして、始点となる位置をクリックします。



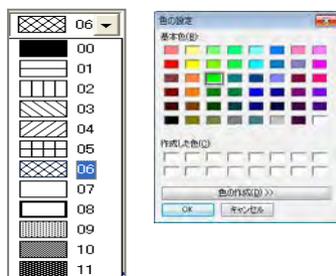
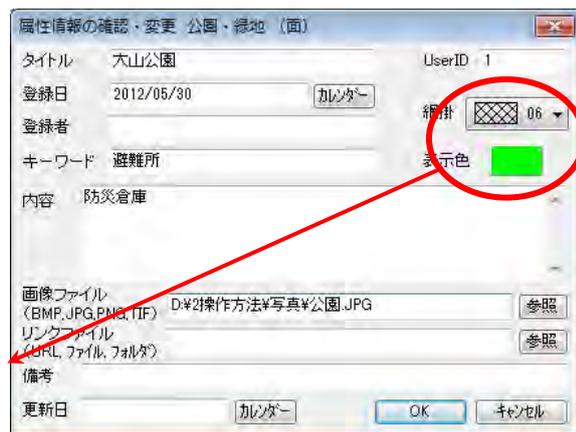
面のイメージが表示されるので、面を描きたい方向へカーソルを動かして、クリックしながら面を描いていきます。

ひとつの面を終了させるには右クリックします。

クリック数が3点未満のとき右クリックしても面データは作成されません。

④「属性情報の確認・変更」ダイアログが表示されます。必要事項を入力し、「OK」をクリックします。

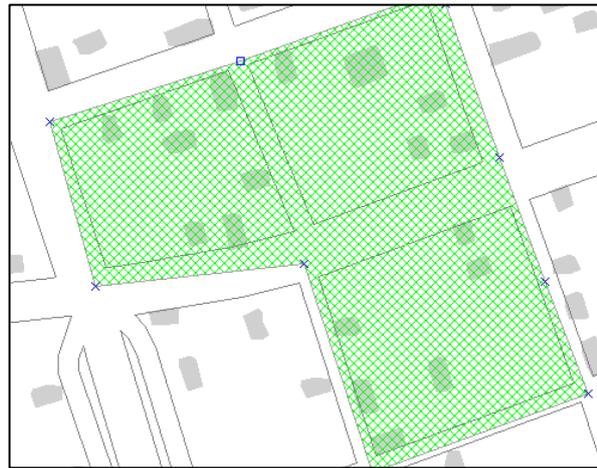
基本的に点や線データと同じ項目の入力ですが、網掛を設定するところが異なります。



⑤面データが作成されました。同じ操作を繰り返しながら面データを入力していきます。

一つのレイヤに入力する面の数の制限はありません。

「面追加」モードは右クリックで解除されます。



参考⑤ 属性情報の画像ファイルとリンクファイル

属性情報のなかの画像ファイルやリンクファイルは、そのファイル名が属性データファイル内に**相対パス**（属性データデータファイルが存在する位置を基準とする）で記録されます。但しドライブが異なる場合は**絶対パス**となります。そのため、**他のマシンにコピーしたとき、相対パスだけで記録されていれば、パス名を再度登録する必要はありません。**

リンクファイル（ホームページ等）について

この欄にはホームページの URL だけでなく、テキストファイルや PDF あるいは画像データ、動画データなどのファイル名も入力できます。

- ・ ホームページ： www.aaaa.bb.jp
- ・ 各種ファイル：*.pdf, *.doc, *.xls, *.ppt, *.txt
- ・ 画像ファイル：*.bmp, *.jpg, *.png, *.tif
- ・ 地図太郎ワークファイル：*.wrk
- ・ フォルダ：d:\¥ccc¥ddd¥（フォルダ単位でファイルを管理している場合）

この欄に入力されたファイルは、その拡張子が関連付けられているアプリケーションがインストールされていれば、情報ウィンドウの[リンク]ボタンを押すことにより表示（または再生）されます。

(4) 面データの新規作成【ファイル】PLUS

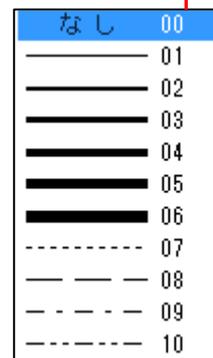
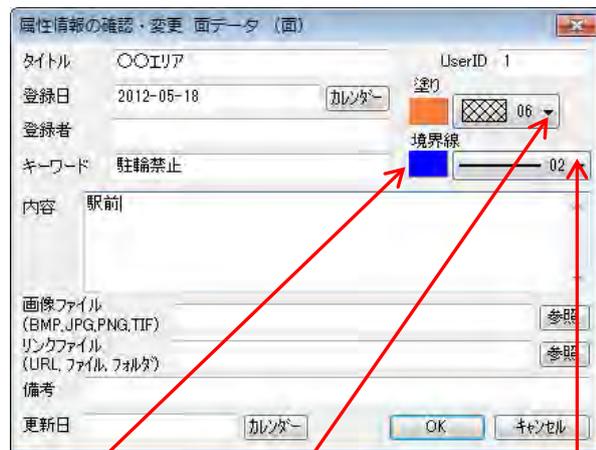
「地図太郎 PLUS」では面の塗りと、境界線は別に設定できます。

- ①メニューバーより【ファイル】→【編集レイヤの新規作成】をクリックします。
- ②データの種類の「面」を選択し、「レイヤの名称」を入力し、[OK]をクリックします。



- ③カーソルに「面」という文字が現われます。地図を拡大して面データを作成したい地点にカーソルを動かし、始点となる位置をクリックします。面のイメージが表示されるので、面を描きたい方向へカーソルを動かして、クリックしながら面を描いていきます。ひとつの面を終了させるには右クリックします。クリック数が3点未満のとき右クリックしても面データは作成されません。

- ④「属性情報の確認・変更」ダイアログが表示されます。必要事項を入力し、「OK」をクリックします。



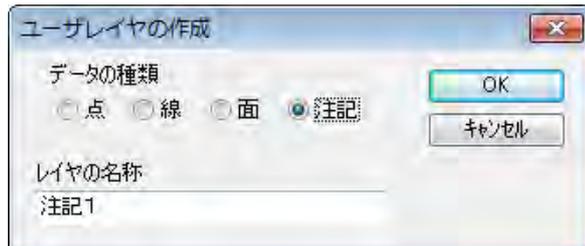
注意
 面データは「地図太郎」と「地図太郎 PLUS」で互換ではありません。「地図太郎」で作成した面データは「地図太郎 PLUS」で読み込めますが、「地図太郎 PLUS」作成した面データは「地図太郎」では読み込めません。

(5) 注記レイヤの新規作成【ファイル】PLUS

注記データには属性情報（タイトル、内容等）は設定できません。

※作成した「注記レイヤ」は「地図太郎」に読み込まないでください。データが破損します。

- ①メニューバーより【ファイル】→【編集レイヤの新規作成】をクリックします。
- ②データの種類の「注記」を選択し、「レイヤの名称」を入力し、[OK]をクリックします。



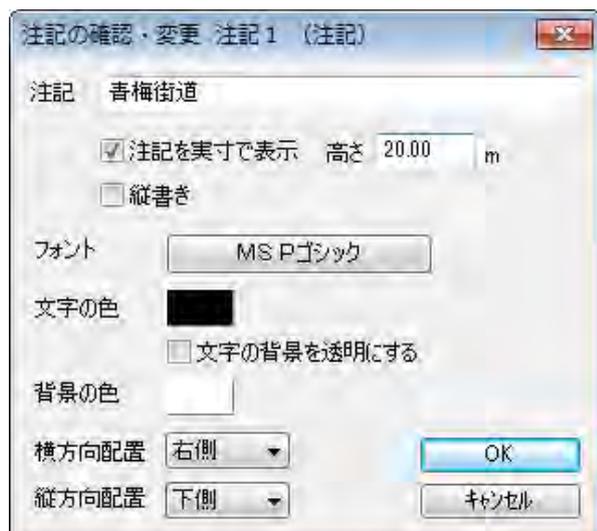
- ③カーソルに「注記」という文字が現われます。地図を拡大して注記データを作成したい地点にカーソルを動かして、クリックします。



- ④「注記の確認・変更」ダイアログが表示されます。必要事項を入力・選択し、「OK」をクリックします。

個々の注記ごとに以下の設定ができます。

- 注記
- 文字の実寸表示
- 縦書き表示
- フォント
- 文字の色
- 文字の背景を透明にする
- 文字の背景の色
- 横方向配置
- 縦方向配置



- 「実寸で表示」にチェックを入れた場合、画面の拡大・縮小により文字も拡大・縮小されます。
- 「実寸で表示」の「高さ」は地図太郎 PLUS の画面下のスケールを参考にして値を決めます。
- 縦書きには、縦書き用フォントを選びます。（先頭に@が付いたフォント）
- 例えば、横方向・縦方向配置が右・下側のとき次のように注記の位置が表示されます。

⊗ 青梅街道

⑤注記データが作成されました。同じ操作を繰り返しながら注記データを入力していきます。

「注記」入力モードは右クリックで解除されます。



注記データの回転

道、河川等に沿って注記データ表示させるには次のように操作します。

①「編集レイヤの選択」注記レイヤを選びます。

②【編集】→【回転】を選びます。
カーソルに「注回転」という文字が現われます。



③ ⊗ をクリックして注記を選択します。
次に文字列をドラッグして回転させます。

「回転」モードは右クリックで解除されます。

※注記データでは、以下の機能を使用できません。

- ①他形式で書き出し
- ②スナップ
- ③数値検索
- ④カレンダー検索
- ⑤CSV データの結合
- ⑥グラフ・色分け表示
- ⑦情報ウィンドウ・位置ウィンドウの表示

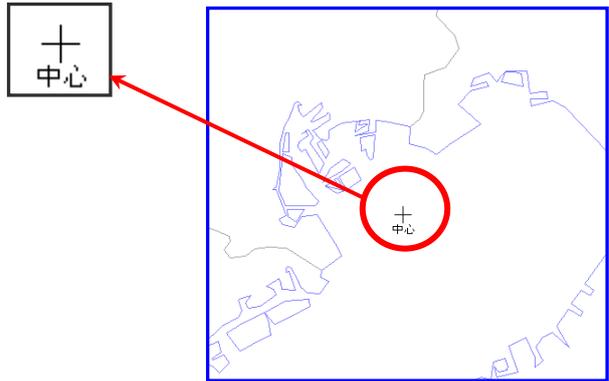


(6) 追加 (等距離円) 【編集】 PLUS

「地図太郎 PLUS」では線または面の編集レイヤに、多数の補間点で構成された等距離円データを追加できます。

①メニューバーから【編集】→【追加 (等距離円)】を選択します。

カーソルの下に「中心」という文字が現れます。

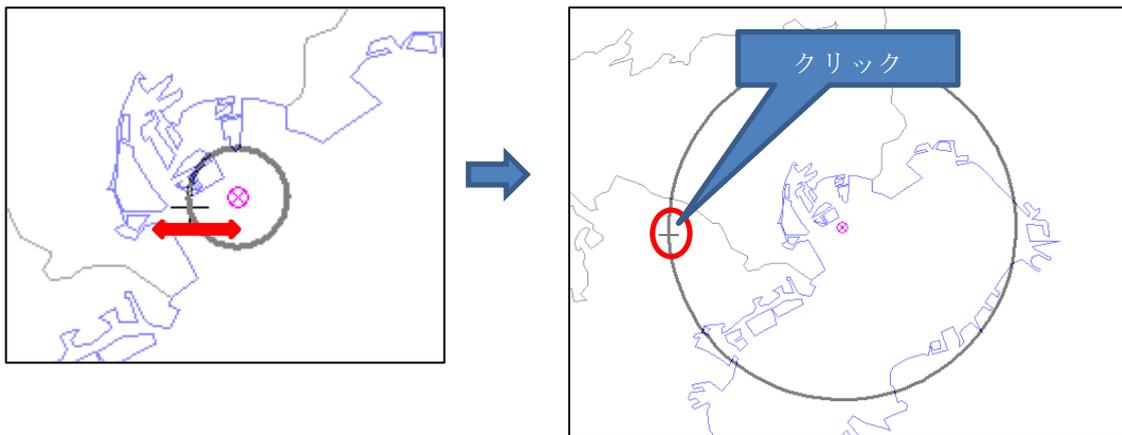


②中心をクリックして指定して円を描きます。
クリックするとダイアログが表示されます。

●「図上で指定」を選択の場合

1) 中心から円周方向にドラッグして範囲を指定します。

2) クリックした場所で半径を確定します。



● 「数値で指定」を選択の場合

- 1) 半径を入力し、[Enter]キーを押して確定したら、「OK」をクリックします。



- ③ 「属性情報の確認・変更」ダイアログが表示されます。必要事項を入力し、「OK」をクリックします。

「属性情報の確認・変更」ダイアログで[キャンセル]ボタンを押すとデータは作られません。各入力項目間を移動するときは[Tab]キーを押します。(入力項目の詳細は「属性情報の確認・変更」参照)



- ④ 円が描かれます。

右クリックすると【追加 (等距離円)】を終了します。



編集レイヤが面の場合も同様に作成できます。

